



ふくお環ゼミ施設見学会 in 北九州

旅のしおり

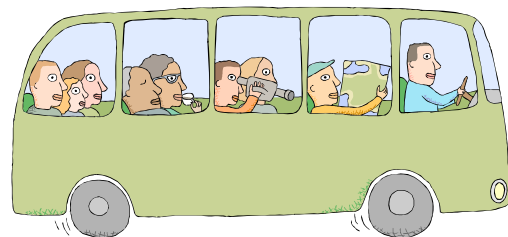
作成者：小出ゼミ 3年黒木・春山・森永

【1日目:8/21(木)】

- 09:15 集合（博多駅筑紫口）
- 09:30 出発
- 11:00 埋立処分場（ひびき灘開発(株)）
- 12:00 移動（北九州市エコタウンセンター）、昼食（持参）、休憩
- 13:30 エコタウン概要説明
- 14:30 自動車リサイクル工場（西日本オートリサイクル(株)）
- 15:05 O A機器リサイクル工場（(株)リサイクルテック）
- 15:30 響灘ビオトープ
- 17:00 移動
- 18:00 北九州ハイツ着

【2日目:8/22(金)】

- 08:10 北九州ハイツ出発
- 08:40～09:00 あさの汐風公園
- 09:30～11:00 東田第一高炉跡ほか
- 11:00～11:20 北九州市環境ミュージアム
- 11:40～12:40 大谷会館、昼食
- 13:00～15:00 新日鐵住金(株)八幡製鉄所
- 17:00 解散（博多駅筑紫口）



施設概要

■埋立処分場（ひびき灘開発株）

浮棧橋により埋立を行っています。浮棧橋を定期的に移動させながら埋立てられるため、陸地からの埋立ではできなかった、層状に埋立てる事ができ、均一な土地を作ることができます。

写真：

<http://www.hibikidev.co.jp/news/index.php?date=2009-05-18>



■自動車リサイクル工場（西日本オートリサイクル株）

平成12年、北九州エコタウンの一角にある総合環境コンビナート内で操業開始。日本初のシュレッダーレス方式の自動車リサイクル事業者です。月間1500台、一日当たり60台の自動車解体処理を行っています。

写真：<http://www.ngp.gr.jp/k915/>



■北九州市エコタウンセンター

全国のエコタウンの中で最も早くスタートして、最も充実している「北九州エコタウン」の中核施設です。リサイクルやエネルギーについて、展示物やDVDでご紹介したり、実際の工場見学のご案内をしています。

写真：<http://www.hibikidev.co.jp/ecotown/>



■（株）リサイクルテック

平成10年創立。環境への配慮と資源の有効活用の為、従来埋め立て処分されていたOA機器を引き取り、新たな機器等の部品や材料として提供しています。

写真：

<http://www.kitaq-ecotown.com/torikumi/company/recycletec.php>



■響灘ビオトープ

2012年10月6日オープン。響灘を廃棄物処分場として埋め立てた敷地に自然発生して誕生しました。市民が生物多様性に配慮しながら自然と触れ合える自然環境学習拠点になっています。

写真：wikipedia より



■北九州ハイツ

小高い丘にそびえ、緑溢れる静かな環境が好評の北九州ハイツ。宿泊、会議、研修、宴会など様々なシーンにご利用頂ける多目的施設です。

■あさの汐風公園

JR 小倉駅から直結するあさの汐風公園は、再生材料の利用や太陽光・風力発電の設備があり、環境に配慮した公園です。また、大噴水や大芝生広場など緑も多く、市民の憩いの場となっています。

写真：

<http://maps.kosodate-fureai.jp/column/pickup/2011/10/mp-1110.php>



■東田第一高炉跡

昭和 37 年（1962）操業開始。八幡製鉄所の一部。現存の東田第一高炉は改修を重ね日本最初の高圧高炉として建設されました。平成 8 年には市指定文化財（史跡）に指定されています。

写真：<http://kkagaya.blog.fc2.com/blog-entry-301.html>



■北九州市環境ミュージアム

環境ミュージアムは、世界の環境首都を目指す北九州市が整備する『市民のための環境学習・交流総合拠点施設』です。

写真：<http://eco-museum.com/access.html>



■大谷会館

まさかのウェディング会場。1927年（昭和2年）当時は官営八幡製鉄所の社員クラブとしてオープンしました。宴会や会食にも利用できます。

写真：<http://kitaqare.d.dooo.jp/mati02.htm>



■新日鐵住金(株)八幡製鉄所

明治34年（1901年）官営製鉄所として操業開始。近年は九州地区の自動車工場向け高級鋼板の供給基地として、また近接するアジア市場への輸出拠点としての役割が強まっています。広さは東京ドーム237個分です。

写真：

<http://www.asahi.com/area/fukuoka/articles/SEB201305300050.html>



